

首都圏本部

「たまたつ 〜東京総合車両センター編〜」を発売

2月10日、首都圏の列車運行を支えてきた実物の「鉄道部品」と「鉄道グッズ」のカプセルトイを「たまたつ」と称し、GENERAL STORE RAILYARD 秋葉原・大宮の2店舗で発売しました。これらは東京総合車両センターで車両整備の際に交換されたもので、鉄道部品の役割や整備に関する豆知識などを掲載した「鉄道部品説明書」も同梱し、社員の「鉄道魂」をお伝えしています。両店舗を買い回る楽しさもあり、話題を呼びました。



横浜支社

鶴見線 E131系車両の営業運転を開始

12月24日、営業開始に向け準備を進めていた、鶴見線 E131系車両の運転を開始しました。鶴見線に新車が投入されるのは当社が充足して以降初めてで、各号車に、車いすやベビーカー向けのフリースペースの設置や、非常通報装置を増設するなど、お客さまにより安心して、快適に利用いただける環境が整備されました。当日は、鶴見駅で出発式を開催し、多くのお客さまに見守られる中、運行を開始しました。



八王子支社

三鷹保線技術センターで初のイベントを開催

2月3日に、三鷹保線技術センターでは初めてのイベントとなる「小金井さんSUNレールフェス」を西武鉄道(株)、(株)JR中央線コミュニティデザインとともに開催しました。鉄道メンテナンス業務の魅力を知ってほしいという想いから、仕事紹介や体験イベントなどを実施し、当日は多くのお客さまに会場いただきました。



大宮支社

視覚障がいのあるお客さまの鉄道施設体験会を開催

12月18日、大宮エリアサービスチーム 共生社会プロジェクトチームの取り組みとして、視覚に障がいのある2名のお客さまをお招きし、大宮営業統括センター訓練室にて鉄道施設体験会を開催。障がいのあるお客さまが苦勞されているポイントなどへの理解を深めて異常時の対応力を向上するため、救済はしごの昇降や線路内歩行、踏切設備確認など、お客さまの誘導・介助について考察しました。



高崎支社

JT群馬支社と初めての協業施策を実施

高崎駅と日本たばこ産業(株) (JT) 群馬支社では、若手社員による企業間交流を行っています。この協業施策の第1弾として、昨年12月、高崎駅新幹線ホームの喫煙所にE7系をモチーフにしたデザインのラッピングや特殊清掃などを実施しました。今後も両社の知見を共有し、きれいな喫煙所の維持だけでなく、両社のサービスを利用するお客さまにより良い価値を提供していきます。



水戸支社

イベント専用車両「E501 SAKIGAKE」がデビュー

11月23日に、E501系電車に紅梅・白梅をイメージしたカラーリングを施し、テーブルの設置など車内設備をリニューアルした「E501 SAKIGAKE (さきがけ)」がデビューしました。初列車は沿線の地酒と食を楽しむ「水戸線地酒列車」として運転。水戸営業統括センター社員が、“時代の先駆けとして、新しい体験や特別な時間を過ごせる場となるように”という願いを込め、勝田車両センターとも連携し、実現に至りました。



千葉支社

京葉線沿線のさらなる発展に向けトップスポーツチームと連携

京葉線沿線を本拠地に活動するスポーツチーム「KEIYO TEAM6」（バルドラール浦安、千葉ジェッツ、オービックシーガルズ、千葉ロッテマリーンズ、千葉ゼルバ、ジェフユナイテッド市原・千葉）は、新たに3チーム（浦安 D-Rocks、IBM BIG BLUE、アルティエリ千葉）が加わり「KEIYO TEAM6+（プラス）」として9チームで行う連動プロモーションの展開について合同会見を行いました。3チームの合流により、異なる競技同士での相互流動を図るなどスポーツによる京葉線の沿線価値向上・鉄道の新たな流動を生み出していきます。



長野支社

白馬駅2階に宿泊特化型ホテルを開業

2月7日、大糸線白馬駅2階の社員寮（北アルプス寮）の一部を、宿泊特化型ホテル「The Hakuba Station Room」（2部屋）として開業しました。地元ゲストハウスを運営する「白馬のギフト」と定期建物賃貸契約を締結し、地域創生と遊休資産活用の両立を目的に、駅周辺や白馬エリアを楽しんでいただくための拠点となることをめざします。



東北本部

作並駅で郵便局業務と駅業務の一体運営を開始

日本郵便（株）東北支社と当本部は「郵便局と駅の機能連携」の取組みとして、東北エリアでは初めて、無人駅となっている仙山線作並駅で郵便局業務と駅業務の一体運営を1月24日に開始しました。当日は、仙台市長や日本郵便（株）東北支社長、当本部の三林本部長が参加して、開局セレモニーが開催されました。今後も、お客さまの利便性向上に向けた施策を進めていきます。



盛岡支社

「しあわせな予感♥いわて冬旅キャンペーン」をスタート

当支社では、いわて観光キャンペーン推進協議会と連携し、1月1日～3月31日に「しあわせな予感♥いわて冬旅キャンペーン」を実施しました。キャンペーンに先立ち、12月23日には岩手県副知事や盛岡市長も参加してオープニングセレモニーを開催。キャンペーン期間中、地域とともに岩手の冬を盛り上げました。



秋田支社

藤井聡太竜王を大曲駅でおもてなし

12月6日、「鉄道好き」としても知られる藤井 聡太竜王が大曲駅を訪れました。おもてなしとして、駅長制服を着用しての秋田新幹線「こまち」の出発式を実施。その後、投排雪保守用車の運転を体験していただきました。投排雪保守用車の運転は初めてとのこと「すごく楽しい経験になった」と雪国ならではの体験を笑顔で話していただきました。



新潟支社

令和6年能登半島地震による越後線の被災と復旧

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、越後線の内野～新潟大学前間では道床が陥没する被害が発生し、越後赤塚～関屋間で運転を見合せました。発災翌日から昼夜を問わず復旧作業を行い、1月6日昼に全区間で運転を再開。また、支社公式SNSに復旧工事の進捗を公開し、たくさんの応援メッセージをいただきました。



渋谷駅南通路・(仮称) 渋谷駅南口 北側自由通路の供用を開始

渋谷駅南側エリアで進めていた線路上空の2本の東西通路整備について、12月1日に渋谷区の南通路（渋谷駅南跨線人道橋）が供用を開始し、(仮称) 渋谷駅南口北側自由通路も暫定的に供用を開始しました。これにより「渋谷駅新南口駅舎⇄渋谷サクラステージ」「渋谷ストリーム⇄渋谷サクラステージ」で歩行者の通行が可能となりました。



大船渡線BRT陸前矢作～竹駒間の 気仙川橋りょうを使用開始

当オフィスでは、東日本大震災による被災線区の復旧工事を長年推進してきました。今回、大船渡線で最後のBRT専用道整備区間である陸前矢作～竹駒間の気仙川橋りょうの復旧工事が完成し、3月16日に使用を開始しました。これをもって、仙石線・常磐線・山田線・気仙沼線などを含め、当オフィスで進めてきた一連の震災復旧工事がすべて完了しました。



GORE-TEX素材のハーフコート・パンツを販売

1月12日から、GORE-TEX（ゴアテックス）素材の防水防寒ハーフコート・パンツを、数量限定で販売しています。GORE-TEXは、高レベルな防水性・透湿性・防風性を備え、保温性抜群の素材です。鉄道作業員の皆さまの声をもとに、ブルー色かつTC列警（TC型無線式列車接近警報装置）対応ポケットや腕章ループなど、作業のしやすさを意識したデザインに仕上げました。

問い合わせ先：03-3299-1945



*ゴアテックス、GORE-TEXはW.L.Gore&Associatesの商標です。

関東運輸局より感謝状を受領

2月27日、関東運輸局長より感謝状を授与されました。これは、1月2日に発生した羽田空港での航空機接触事故に際し、終電後の移動手段確保のために臨時列車を運行しお客さまの救済に尽力した功績が評価されたものです。今後も社員一丸となって羽田空港アクセス輸送の使命を果たすとともに、より便利で快適な輸送サービスの提供に取組んでいきます。



「シャポー市川カップ2024」を開催

2月25日、地域の発展に貢献する取組みとして、当社が協賛している少年サッカー大会「シャポー市川カップ2024」の決勝戦が、ジェフユナイテッド市原・千葉の本拠地であるフクダ電子アリーナで開催されました。予選を勝ち抜いたフォルマーレと南市川JFCブルーの2チームが決勝戦に臨み、1対0でフォルマーレが勝利しました。



「武蔵境駅バックヤードツアー」を開催

1月28日、武蔵野市が主催する小学生を対象とした鉄道イベントに協力して「武蔵境駅バックヤードツアー」を開催しました。2023年度入社の若手社員2名が中心となって、駅構内での放送体験や、線路上の落とし物などを拾い上げる際に使用するマジックハンド体験などを実施。参加したお子さまからは「自分で体験することが楽しい」と好評で、笑顔があふれる一日となりました。

